

アオバアリガタハネカクシ

甲虫類の中には、毒を持つものがあります。その中の1種アオバアリガタハネカクシを紹介します。

生態

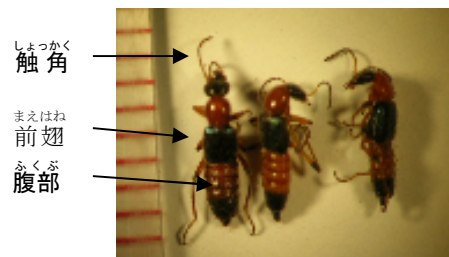
日本全土に分布し、水田、畑、池の周辺などの湿った草地で生活しています。成虫は、昆虫やダニ、やや腐敗した植物等を餌にしている、4月から10月頃にかけて夜間、灯火に飛んできます。

被害

有毒物質（ペデリン）を体液中に持っています。このため、室内に誤って入った成虫が、ヒトの腕などにとまった場合は、体液が付着し、炎症（赤く腫れたり、水ぶくれ、など）の原因となります。また、自転車などを運転中、成虫が眼に飛び込んでしまい、激しい痛みや炎症をおこす場合もあります。

症状が改善しない場合は、医療機関を受診しましょう。

アオバアリガタハネカクシ 成虫 飛来時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



アオバアリガタハネカクシ 成虫

体長：約6.5～7.0mm

[体色]

- 頭部は黒色
- 胸部は橙 色
- 前翅は藍 緑 色
- 腹部末尾は黒色で、
他は黄 赤 色

予防対策

- 虫が誘引されやすい灯りを遮る特殊なフィルムを窓などに使用しましょう。
- 網戸の設置や定期的な修理をおこない、侵入を防止しましょう。
- 皮膚にとまった場合は、そっと払いのけましょう。

参考図書

1. 梅谷献二 編：原色図鑑野外の害虫と不快な虫 全国農村教育協会（1994）
2. 松崎沙和子 武衛和雄 著：都市害虫百科 朝倉書店（1993）